

活動内容
メンバー紹介

KYOURYOKUTAI
WORKS

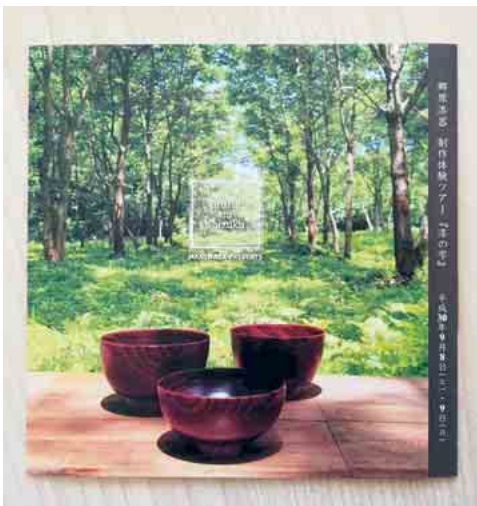
協力隊ワークス vol.27

蒜山から始まる国産漆の可能性

問 交流定住センター：0867-44-1031
交流定住推進課：0867-42-1179



漆掻き体験にて参加者へ解説する甲田隊員。



「漆の掬」ツアーパンフレット。第1回目は首都圏などからも参加があり、キャンセル待ち状態で漆の可能性を大いに感じました。

漆の木を使いきたい

真庭市の伝統工芸「郷原漆器」振興、中でも原材料確保の一環で、私、甲田は現在、見習いとして蒜山の漆ほ場で漆掻きを行っています。1本の木からわずかしか採取できないばかり

か今やたいへん貴重な国産の漆、「この存在を多くの人に身近に感じてもらえないだろうか」と地域の人と話し合い、昨年、郷原漆器制作体験「漆の掬」を実施しました。全国的にも珍しい、「漆掻き・塗り」の体験です。さらに、職人とのたわい

全国に例を見ないツアーを実施

今月、8日(土)～9日(日)に、昨年キャンセル待ちの人数となった、郷原漆器制作体験「漆の掬」を今年は大規模アップ。今

年度に発足した(一社)真庭観光局とタイアップして、1泊2日のツアーとして企画しています。漆を「掻く」「塗る」「食べる」、そして「染める」を加えて実施します。真庭が世界に誇る地域資源、「漆」を「体験」を通じて堪能できる、おそらく日本初のプログラムです。自分で掻いた漆を郷原漆器の仕上げに塗り、そのまま持つて帰ることができるのも魅力。郷原漆器、漆のことをもっと身近に感じてもらえたら、と思います。



文・甲田智之



「漆ヲ食ス会」にてオッケタンを味わう参加者。



健康のススメ

かかりつけ薬剤師について

お話：そうごう薬局 真庭勝山店 河野 貴之さん 関 TEL0867-44-7101

ご存知ですか？

「かかりつけ薬剤師」

かかりつけ薬剤師制度について

皆さんは「かかりつけ薬剤師」という言葉を聞いたことがありますか。この制度は平成28年度から始まった比較的新しい制度です。

「かかりつけ薬剤師」とは、薬だけでなく、健康や介護などに関しても豊富な知識を持ち、みなさんの相談に応じることが出来る薬剤師です。かかりつけ薬剤師は、みなさん自身で選ぶことができます。

どんなことができるの

かかりつけ薬剤師の3つの働きについて説明します。
1つ目は、薬を安心・安全に使用していただくために薬の確認をすることです。

他の病院、薬局でもらった薬やドラッグストアなどで購入した市販薬など、みなさんが使用している薬の情報をまとめて確認し、薬の飲み合わせのほか、薬が効いているか、

副作用などがないかを継続的に確認します。そこで役立つのが「お薬手帳」です。「お薬手帳」は処方された薬の名前や飲む量、回数などを記録するための手帳です。その他にも副作用歴、アレルギー歴、既往歴などを書くページもあるので、健康管理にも活用できます。市販薬やサプリメントなども記入できます。

2つ目は、患者さんへの24時間対応や、自宅にお伺いして、薬の管理を行うことなどです。

休日や夜間など薬局の開局時間外も、電話で薬の使い方や副作用など、お薬に関する相談をお受けします。また、必要に応じて夜間や休日も、処方箋に基づいてお薬をお渡しします。

また、外出が難しい高齢者などの患者さんのお家に伺い、お薬の説明をしたり、残薬（手元に残っている薬）の確認や調整、飲みやすくするための工夫も行います。

3つ目は、医師や介護関連スタッフなどと連携を行うことです。

薬の内容を確認し、必要に応じて医師への問い合わせや提案を行います。患者さんに薬を渡した後も患者さんの状態を見守り、その様子を処方医に報告・相談したり、注意事項などがあれば介護関連スタッフへも情報提供します。お薬だけでなく、広く健康に関する相談にも応じ、場合によっては医療機関への受診をお勧めすることもあります。

また、地域の医療機関やさまざまな介護スタッフとも連携し、チームでみなさんを支えられる関係を日ごろからつづけています。

制度を利用するには

薬剤師と同意書などの書類を作成することでかかりつけ薬剤師の制度を利用することができます。

制度を利用すると通常の薬剤服用歴管理指導料に代わり、かかりつけ薬剤師指導料が発生しますので、3割負担の人であれば60円または100円程度自己負担額が増えます。

かかりつけ薬剤師を見つけるには

かかりつけ薬剤師は、皆さんの健康サポーターとして薬局内はもちろんのこと、薬局以外でも活動しています。

いつも行く薬局に顔見知りの薬剤師がいれば、色々質問してみたり、薬の相談会などを行っている薬局があれば参加してみたりしながら薬剤師の話を聞いてみてください。

また、処方箋をお持ちでなくても薬や健康のことなどで不安があれば、ぜひお近くのかかりつけの薬局を訪ねてみてください。

信頼できる薬剤師を見つけたら、手続きをして、制度をご活用ください。

